

A 職員（生活援護課 男性）

1. 派遣された期間

1月14日(日) ～ 1月19日(金)

2. 派遣された場所

輪島市三井公民館

3. 担当した業務内容

避難所運営

支援物資の搬入、仕分け、配布、在庫管理

自衛隊の炊き出し配膳、仮設トイレ、シャワーの清掃等

4. 派遣されたときの現地の状況

道路が地割れしていたり、マンホールが隆起しており、建物も倒壊していた。

雪も降っていた日もあり道路状況悪く、夜中、朝方は特に冷え込んだ。

5. 被災者の様子

三井公民館の避難者は大半が高齢者であったが 1 人のみ発熱していたが、その他の方々は健康状態問題なしであった。避難者同士で支え合い協力して生活していた。

6. 避難所の様子

食料、衣類、日用品と支援物資は豊富で避難者以外にも、近隣に住む被災者の方々の来訪もあった。

7. 現地で困ったこと

断水しており風呂は入れず、電気は使用可能。ポットやストーブを使って湯を沸かし、非常食を摂った。避難所の裏には地滑りした山があり、いつ地滑りが起こってもおかしくない状況で危険を感じた。仮設トイレを使用していた。

8. 派遣を終えて感想

日常から災害対策していても実際その場面になると、想定外な状況が多々出てくることを実感した。それを理解した上で、実際により近い状況を想定して災害対策をしておくことが重要であり、日々改善していくよう努めなければならないと思った。

9. その他に気がついたことがあれば

余震は1時間に1回程度あり、震度5弱、震度4もあった。